

令和元年（2019年）11月19日

愛荘町
滋賀県 共同発信

～イチオシ「やまシリーズ」～

「松峰山金剛輪寺（湖東三山）」を発信します

湖東三山のひとつ、鈴鹿山系の懐深くに佇む、愛荘町にある天台宗「金剛輪寺」は、奈良時代の中頃、天平13年（741年）に聖武天皇の勅願で行基菩薩によって開山されました。

本堂は、鎌倉時代の代表的な和様建造物として国宝に指定されています。本堂「大悲閣」（室町時代前期）内には、平安から鎌倉時代の仏像が14躯安置され、そのほとんどが重要文化財に指定されています。

また、重要文化財の三重塔（室町時代前期）や二天門（室町時代後期）は中世の建造物の優作として知られています。さらに、近江路一といわれる国指定の名勝庭園は、桃山から江戸時代中期にかけての築庭で、江戸時代末期の茶室「水雲閣」が趣をそえています。

本堂までの参道には約2千体の「千体地蔵」が立ち並び、参拝者を見守られています。カラフルな風車と手づくりののれんで彩られた千体地蔵が立ち並ぶ姿は圧巻でインスタ映えする美しさです。

そして、これからの時期に見頃を迎えるのが紅葉です。毎年11月中旬から12月上旬にかけては、ヤマモミジやイロハカエデを中心に全山が色鮮やかに紅葉し、本堂周囲や名勝庭園内の紅葉は、「血染めのもみじ」と呼ばれるほど絶景です。



毎年、紅葉の時期に併せて、「紅葉シャトルバス」を運行しています。今年は、11月16日（土）から11月24日（日）の期間限定で、JR彦根駅と湖東三山を繋ぎます。1日乗り降り自由で湖東三山を周遊でき、特典が盛りだくさんの「もみじきっぷ」は毎年好評をいただいています。

今年他にも「秘仏日本最古の大黒天」の特別公開や期間限定での特別御朱印授与（12月8日まで）、町立歴史文化博物館における金剛輪寺の名宝の企画展開催（12月15日まで）、「湖東三山×JAF滋賀支部」によるドライブスタンプラリー（11月30日まで）など企画が目白押しです。



今後も県観光キャンペーンや関係団体等と連携しながら、愛荘町の観光振興を図ってまいります。

滋賀県立琵琶湖文化館・愛荘町立歴史文化博物館連携企画展

湖東三山 金剛輪寺の名宝

滋賀県立琵琶湖文化館寄託品里帰り特別公開

令和元年
11.1金 ▶ 12.15日

Ⅰ期：11月1日～20日 Ⅱ期：11月21日～12月15日

【開館時間】午前10時～午後5時（入館は閉館前30分まで）
 【入館料】一般200円（2500円）、小・中学生500円（1000円）
 休館日 月曜（祝祭日を除く）
 【無料入館日】11月16日～17日・23日～24日（国祝文化の日）
 協賛 滋賀県立琵琶湖文化館 滋賀県立歴史文化博物館
 協賛 滋賀県立琵琶湖文化館 滋賀県立歴史文化博物館
 協賛 滋賀県立琵琶湖文化館 滋賀県立歴史文化博物館
 協賛 滋賀県立琵琶湖文化館 滋賀県立歴史文化博物館

主催 愛荘町立歴史文化博物館 滋賀県立琵琶湖文化館 滋賀県教育委員会

お問い合わせ先

愛荘町農林商工課

住所：愛知県愛荘町安孫子 825 番地

担当：清水

TEL 0749-37-8051

FAX 0749-37-4444

E-mail norin@town.aisho.lg.jp